

## 木造城(県史跡)(津市木造町字城)

天正21年(1366年)に北畠顕俊(北畠親房の孫)は、この城を築き、木造(こつくり)氏と称す。代々の城主は足利幕府に出仕して重きをなしたが文禄10年(1567年)に具政、長政父子は、多年従属した北畠氏から離れ、織田信長に従った。

創建年代：室町時代 天正21年(1366年)

「かんこうみえ」による

木造城は、1366年(正平21)年北畠権大納言顕能の三男顕俊が築城しました。顕俊は、木造氏とあらため、初代城主として久居市、一志郡を支配しました。現在の城址は1528(享禄元)年七代城主木造俊茂が古城の北300メートルに新たに築き、1584(天正12)年城を明け渡すまでの五十六年間使われました。

城は伊勢街道に近い交通の要路で、平城形式で築かれています。周囲には沼などの低湿地が広がり、防御がしやすい構造となっています。

城下町では定期的な「市」が立ち、人と物資の交流がおこなわれていました。

「久居市教育委員会現地看板」による





木造城下図



(天正12年写)

(参考:久居市史)